

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) JFEロックファイバー株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒712-8074 岡山県倉敷市水島川崎通1丁目1番地の1	
本票作成	部署名：製造部 技術室				
主たる業種	分類コード	21	業種名：窯業・土石製品製造業		
事業の概要	ロックウール・同製品製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	JFEロックファイバー		岡山県倉敷市水島川崎通1丁目1番地の1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 △ 0.4 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 26 年度)			目標年度 (平成 31 年度)					
	39,099 t CO ₂			41,500 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 26 年度) の排出量					
	①	JFEロックファイバー		39,099 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	生産量 千t	千t	基準年度	目標年度
			227.443 t CO ₂ / (千t)	228.332 t CO ₂ / (千t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 26 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

通常、ロックウールの原料は、高炉の熔融スラグを用いている。平成25年度から製品製造時に発生するロックウール屑の減量化として、一部、常温状態の屑を熔融原料化するリサイクルを開始した。このためエネルギー使用量、温室効果ガス排出量が増加した。更に平成28年度からリサイクル増量を計画しており、対26年度で2,800t-CO₂/年(原油換算950kl/年)増加を見込む。設備更新等によるエネルギー効率向上を実施し、リサイクル増分を除くと、原単位基準で1% CO₂排出量を削減する計画とする。以上の活動に伴い、エネルギー原単位の推移が悪化傾向にある。省エネ同様、ロックウール屑の再溶解・原料化も循環型社会形成を推進するための産業廃棄物の再生利用に該当し、実施すべき事項である。従って、ロックウール屑の再溶解・原料化により生産された数量に関しては、再生利用ということを鑑み、従来と同等の原単位になるように生産数量の定義を変更し、それに伴い計画原単位を変更した。以上の変更理由はエネルギー使用の合理化等に関する法律の定期報告書において、経済産業省中国経済産業局の了承済みである。

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・ 毎月1回、社内収益改善会議にて電力原単位の計画に対する達成状況をフォロー
- ・ 半年毎に社内利益計画策定において電力原単位の計画を見直し

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
JFEロックファイバー	・ H27年度 電気炉の炉内溶融スラグの管理水位を低減し、炉壁からの放散熱量を削減する(400t-CO2/年削減)。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
JFEロックファイバー	・ H31年度 電気炉のレンガを更新し、炉壁からの放散熱を削減する(140t-CO2/年削減)。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--